

# 品川区(東京都)の一体的実施

平成24年3月26日事業開始

品川区立中小企業センター内に「品川区就業センター」を開設し、ハローワークによる職業相談・職業紹介と、区が行っている就業支援、雇用施策が連携し、区民や区内企業に対する雇用、就労、産業支援等の施策を一体的に実施

区

就業支援サービス等



国

職業紹介・職業相談の実施等

## ① 事業内容

- ・就職・就業を希望する区民に対するきめ細かな職業相談・紹介等の就職支援
- ・生活保護受給者等に対する就業支援
- ・内職就労支援員による内職相談・あっ旋
- ・区内企業に対する各種経営相談、雇用情報を活用した求人開拓等

## ② 協定・事業計画

- ・品川区長、東京労働局長及び品川公共職業安定所長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を品川区、東京労働局及び品川公共職業安定所の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・品川区職員、東京労働局職員及びハローワーク品川職員をメンバーとする運営協議会を設置  
(品川区地域振興事業部長が会長)

「品川区立中小企業センター」内に「品川区就業センター」を設置し、ハローワークによる職業相談・職業紹介と区が講じている就業支援、雇用支援施策を一体的に実施。

## (1) 実施体制

### 区

- ・内職就労支援員 1名
- ・企業コーナー指導員 1名
- ・就労自立支援相談員 1名

### 国

- ・職業相談員4名
- ・就職支援ナビゲーター1名(週5回)
- ・求人情報提供端末6台、職業紹介端末5台を配置

## (2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(26年3月末時点)
地域住民に対する就職支援事業	◇ 月間延べ1,200人以上の職業相談・職業紹介を実施し、 就職件数年間500件	◇ 月間延べ1,680人に対し職業 相談・職業紹介を実施(25年度月平均) ◇ 就職件数899件
	(参考)24年度目標 ◇ 職業相談・職業紹介:月間延べ800人以上 就職:年間400件	(参考)24年度実績 ◇ 月間平均延べ1,669人 就職年間777件
生活保護受給者等に対する就業 支援事業	◇ 月間延べ90人以上の職業相談・職業紹介を実施	◇ 月間延べ153人に対し職業相 談・職業紹介を実施(25年度月平均)
	(参考)24年度目標 ◇ 職業相談・職業紹介:月間延べ60人以上	(参考)24年度実績 ◇ 月間平均延べ175人
内職相談・あっ旋事業	◇ 年間延べ100人以上の者に対する内職 相談・あっ旋を実施	◇ 延べ232人に対し内職相談・あっ 旋を実施(うち、あっ旋62人)
	(参考)24年度目標 ◇ 内職相談・あっ旋:延べ50人以上	(参考)24年度実績 ◇ 延べ233人
事業者の経営・雇用支援事業	◇ 年間延べ120社以上の事業主に対する 採用、雇用見込み等の情報収集を実施	◇ 延べ149社の事業主に対し、雇用見 込み等の情報収集を実施し、安定所に おいて求人受理を行った
	(参考)24年度目標 ◇ 採用、雇用見込み等の情報収集:延べ100社以上	(参考)24年度実績 ◇ 延べ121社



## 「品川区就業センター」について

平成24年3月26日、品川区とハローワーク品川とが連携し、雇用・就労、産業支援等を一体的に実施していく「品川区就業センター」が品川区立中小企業センター内にオープンいたしました。

この就業センターでは、ハローワークの専門相談員による職業相談・職業紹介、求人情報端末による求人検索のほか、生活保護受給者や母子家庭等への職業支援として、区就労自立支援相談員と、ハローワークの就職支援ナビゲーターが協力し手厚く就労支援にあたっています。オープンから平成26年3月末まで、延べ4万4千人を超える方が足を運ばれ、1,676人の方が就職されました。

就業センターでは開設以来、隣接するおおむね55歳からの無料職業紹介所「サポしながわ」と連携のもと、シルバー世代の就労支援にも取り組んでいます。また、区内中小企業への求人支援や子育て中の求職者、若年者の就業支援のため、就職面接会や就職支援セミナーの開催などにも取り組んでいます。

規模は小さいながらも、機能と意欲が満載の品川区就業センターを、多くの方に利用してもらえるよう、今後とも区とハローワークが連携した就業支援の充実を図り、全力で取り組んでいきたいと考えています。

平成26年4月1日

品川区長 濱野 健

# 一体的実施事業による就職成功例

## ●担当者制による就職事例

男性：59歳 希望職種：飲食・清掃

### ○ 本人の状況・背景

- ・中学校卒業後、居酒屋（ホール・洗い場）及び清掃関係に約40年間従事する。その後、失業保険受給するも他に収入がなく、生活保護受給に至る。

### ① 抱える課題

- ・本人は、これまでの経験を活かし飲食関係の職種への応募を希望するも、年齢の関係で採用に至らず。

### ② 支援内容・ポイント・経過

- ・担当者制による就労支援を開始する。当初は本人の希望を優先していたが、相談を重ねていく中で、就業時間の短縮（パート求人）や職種を広げる等提案する。

### ③ 結果

- ・マンションの日常清掃にパート労働者で採用となる。  
※支援期間 5カ月

### ○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・支援当初は、フルタイム求人への応募を希望していたが、応募しても不採用が続き、自信を失いかけていた。このため、本人と相談し、パート求人に応募するなど応募条件緩和を図った。その結果、以前より積極的な応募の喚起を促す結果となり、採用に至る。

### ○ 本人のコメント

- ・半日の就労ではあるが、がんばりたい。今後、仕事に慣れたら、もう少し就業時間の長い仕事にもチャレンジしたい。